
チキン野郎達のボクシング奮闘記

トム

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チキン野郎達のボクシング奮闘記

【Nコード】

N1638U

【作者名】

トム

【あらすじ】

普通の高校生が、四角いリングで戦う物語です？

迷い（前書き）

登場人物

高田康平（主人公）

片桐健太（親友）

迷い

坂田と鳴海と別れた僕（康平）と健太は、複雑な気持ちになっていた。

僕達2人が同時に好きだった鳴海那奈、彼女と付き合っている坂田裕也。

しかも、裕也と僕達とは結構仲がいい。

裕也は、男の僕から見てもカッコいいけど、性格はもつといい。気さくな奴だ。那奈も凄く可愛いけど、可愛いだけじゃなく、からかってくる割にどこか控え目で、話しても疲れないタイプだ。

あの2人は、僕達が那奈を好きだった事を知らない。

あの2人が憎い訳ではないが、なぜか切ない気持ちになった。

健太が突然口を開いた。

『なんでお前、自分もボクシングやってるって言わなかったんだ。』

健太の口調が八つ当たりっぽく感じたので、僕もすかさず言い返した。

『お前だってはぐらかしてたじゃないか？』

健太

『空気読めよ。あそこで俺達もボクシングやってるって言える訳ねえだろ？』

不毛な口ゲンカが少し続いた後、健太が一言

『まだ、構えと筋トレしかやってねえし、部活辞めようかな……』

僕も、何て答えていいかわからず、黙っていた。

さっきまでの口ゲンカは一時休戦し、健太が別れ際に

『そついえば、うちの部の二年に森谷さんという同じ中学の人がいるから、相談してみようぜ。』

『昼休みでも行こうか。』

と、僕がこたえて健太と別れた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1638u/>

チキン野郎達のボクシング奮闘記

2011年10月9日06時36分発行